

関西哲学会第75回大会プログラム

日時 2022年10月22日(土)、23日(日)

場所 立命館大学 衣笠キャンパス 学而館

402教室(A会場、ワークショップ・共同討議会場) 403教室(B会場)

第1日目: 2022年10月22日(土)

受付開始 9:30

ワークショップ 10:00-12:00 (402教室)

「idealism としての近世哲学」

提題及び提題者

「デカルトの観念論——自然学的観点から」

松枝啓至(京都大学)

「バークリの観念論と実在論——『心の中』の理解をめぐって」

戸田剛文(京都大学)

「『観念論』と『形而上学』——ハイデガーの存在史的思索」

松本啓二郎(大阪教育大学)

司会 安部浩(京都大学)

委員会

12:05-13:05 (404教室)

個人研究発表

1 13:10-13:55

A 個体化の原理の探求とその目的としての諸天使の区別

——ドゥンス・スコトゥスの個体化論を読み直す

石田隆太(同志社大学)

司会 周藤多紀(京都大学)

B ジンメルにおける救いと恩寵——ジンメルのニーチェ批判を基軸として

入江祐加(香川大学)

司会 中川明才(同志社大学)

2 14:00-14:45

- A マルブランシュは神に延長属性を付与したか
——スピノザ主義の「嫌疑」をめぐって

竹中利彦(関西大学)
司会 松田克進(龍谷大学)

- B フッサール時間論におけるヒュレー概念の位置づけについて

柳川耕平(北海道大学)
司会 林克樹(同志社大学)

3 14:50-15:35

- A リードとビーティにおける常識の探求方法と神の位置づけ

中元洸太(京都大学)
司会 久米暁(関西学院大学)

- B ハイデガーはアイデア視における新しい対象性を
どのように理解しているのか

酒詰悠太(佛教大学)
司会 須藤訓任(大阪大学)

4 15:40-16:25

- A カッシーラーにおける言語の三側面——感覚・反省・統一

岩本智孝(大阪大学)
司会 安部浩(京都大学)

- B ハイデガーにおける世界と目的であるものの関係について

西村知紘(京都美術工芸大学)
司会 岡田勝明(姫路獨協大学)

5 16:30-17:15

- A ホワイトヘッドの「思弁哲学」の形成について
——C. D. ブロード批判からの考察

有村直輝(立命館大学)
司会 新茂之(同志社大学)

第2日目：2022年10月23日（日）

受付開始 9:30

個人研究発表

1 10:00-10:45

A ベルクソンの再認論における「反復」の様態について

天野恵美理（高崎経済大学）

司会 吉永和加（岐阜聖徳学園大学）

B ヴァルター・ベンヤミン「言語一般および人間の言語について」
における「仮説（Hypothesis）」概念の再検討

近藤史隆（京都大学）

司会 品川哲彦（関西大学）

2 10:50-11:55

A ジャン・イポリットにおける「意味」の論理学について

得能想平（大阪大学）

司会 加國尚志（立命館大学）

B ガダマーの解釈学における地平の歴史拘束性の徹底についての考察
——R. ローティを導き手として

下山千遥（京都大学）

司会 中山康雄（大阪大学）

編集委員会 12:00-13:30（404 教室）

総会 13:35-14:05（402 教室）

共同討議 14:10-16:10（402 教室）

「徳について」

山口義久（大阪府立大学）

鈴木 真（名古屋大学）

司会 周藤多紀（京都大学）

[コーディネーター 金山弥平（名古屋大学）]